



2004.11.20 館山市〔T〕

ダンチク

Arundo donax

分類 イネ科ダンチク属
分布 関東以西, 四国, 九州, 沖縄
花期 8～12月

高さ4mにもなる大型の多年草で、根茎を伸ばして群落を形成する。木管楽器のリードはダンチクの稈(かん)からつくる。斑入りのものが庭に植えられることもある。



2000.8.6 館山市〔T〕

ヒトモトススキ

Cladium chinense

分類 カヤツリグサ科ヒトモトススキ属
分布 関東以西, 四国, 九州, 沖縄
花期 7～10月

ススキの名がついているがイネ科ではない。高さ2mほどになる。葉は硬く縁に鋸状の歯があり、イノシシも切れるだろうとシシキリガヤの別名がある。



2000.6.6 いすみ市〔T〕

コウボウシバ

Carex pumila

分類 カヤツリグサ科スゲ属
分布 日本全土
花期 4～6月

10～20cmの多年草。葉はコウボウムギより狭く細長い。茎の上部に雄花の穂をつけ、2～3個の雌花の穂は下部につく。



コウボウムギ(フデクサ)

Carex kobomugi

分類 カヤツリグサ科スゲ属

分布 日本全土

花期 4～5月

麦のような穂をつける。弘法大師の筆にちなんで名がついたという。雌雄異株で、雄花の穂は黄色から茶色で、雌花の穂は緑色。

2004.5.8 いすみ市



2000.8.6 館山市〔T〕

ハマエノコロ

Setaria viridis var. *pachystachys*

分類 イネ科エノコログサ属

分布 日本全土

花期 7～11月

海岸の日当たりのよい草地に生える。エノコログサの変種(海岸型)で、草丈が低く地面をほうようにして育つ。



2001.4.9 銚子市〔T〕

ハマアオスゲ

Carex fibrillosa

分類 カヤツリグサ科スゲ属

分布 本州、四国、九州、沖縄

花期 4～5月

海岸の砂地や草原に生育する。雄花の穂は短く、茎の上部に雄花の穂と固まってつくことで、コウボウシバと区別できる。



2000.8.29 館山市〔T〕

イソヤマテンツキ

Fimbristylis ferruginea var. *sieboldii*

分類 カヤツリグサ科テンツキ属
分布 関東以西, 四国, 九州, 沖縄
花期 7～9月

高さ15～40cmの多年草。
太平洋岸では千葉県が北限である。



2000.9.13 館山市〔T〕

ハマスゲ(コウブシ)

Cyperus rotundus

分類 カヤツリグサ科カヤツリグサ属
分布 関東以西, 四国, 九州, 沖縄
花期 7～10月

海岸域に多いのでハマスゲ(浜菅)の名があるが、道ばたや畑などにもよく見られる。根茎の肥大部(塊茎)は香附子(こうぶし)と呼ばれ、よい香りがあり薬用とされる。



2000.8.6 館山市〔T〕

ビロードテンツキ

Fimbristylis sericea

分類 カヤツリグサ科テンツキ属
分布 関東以西, 四国, 九州, 沖縄
花期 8～10月

海岸砂浜内側のやや安定した所に生育している。太平洋側では茨城県以西に分布している。

葉は根もとからたくさんはえて下方にまがり、茎とともに灰色のビロードのように毛が生えている。



2006.7.23 いすみ市

ハマニガナ (ハマイチョウ)

Ixeris repens

分類 キク科ニガナ属

分布 日本全土

花期 4～10月

根茎を砂の中に広げ、葉と花が砂の上に伸びていく。春から秋まで花を見ることができる。葉の形からハマイチョウの別名もある。



2006.8.3 いすみ市

ネコノシタ (ハマグルマ)

Wedelia prostrata

分類 キク科ハマグルマ属

分布 関東以西、四国、九州

花期 7～10月

厚い葉の手ざわりがざらざらして、まるで猫の舌のようだとこの名がついた。茎は枝分かれして砂の上をほうように伸びる。



2004.11.27 銚子市〔T〕

ハマコウゾリナ

Picris hieracioides subsp. *japonica* var. *litoralis*

分類 キク科コウゾリナ属

分布 千葉県から静岡県沿岸

花期 8～12月

コウゾリナの海岸型で、海岸近くの草原などで見られる。丈は10～25cmと低く、下からよく分岐する。



2000.5.9 館山市〔T〕

カワラヨモギ(写真手前)

Artemisia capillaris

分類 キク科ヨモギ属

分布 本州, 四国, 九州, 沖縄

花期 9～10月

砂浜や河原の砂礫地などに生える。冬から春にかけては白い絹毛に覆われる。

ハマウツボ(写真中央)

Orobanche caerulea

分類 ハマウツボ科ハマウツボ属

分布 本州, 四国, 九州, 沖縄

花期 5～7月

カワラヨモギに寄生する無葉緑の寄生植物である。



2004.8.27 南房総市〔T〕

ガンバイヒルガオ

Ipomoea pes-caprae

分類 ヒルガオ科サツマイモ属

分布 関東以西, 四国, 九州, 沖縄

花期 7～9月

葉の形が行司の持つ軍配の形をしているのでこの名がある。種子は黒潮で運ばれ、太平洋側では茨城県まで記録があるが、関東地方では冬に枯死してしまう。



2006.5.5 勝浦市

ハマエンドウ

Lathyrus japonicus

分類 マメ科レンリソウ属

分布 日本全土

花期 4～7月

砂浜や土手、石の多い浜などに生える。エンドウに似た草本で、春に赤紫色の蝶形花をつける。花の色は赤紫から青紫に変化する。



2006.8.28 南房総市〔T〕

イワダレソウ

Lippia nodiflora

分類 クマツツラ科イワダレソウ属
分布 関東以西、四国、九州、沖縄
花期 7～12月

砂浜の安定地や泥岩などの柔らかい岩礫に生える多年草。夏に小さな花が集まった長楕円体の穂をつける。



2006.8.11いすみ市

ハマゴウ

Vitex rotundifolia

分類 クマツツラ科ハマゴウ属
分布 本州、四国、九州、沖縄
花期 7～11月

海岸の砂地に生える落葉低木で群生する。夏に紫色の花をつける。匍匐(ほふく)して伸び、のちに立ち上がる。



2006.8.6 館山市〔T〕

ハマサオトメカズラ

Paederia scandens var. *maritima*

分類 アカネ科ヘクソカズラ属
分布 関東以西、四国、九州
花期 8～9月

サオトメカズラはヘクソカズラの別名である。ヘクソカズラの海岸型で葉が厚く、光沢がある。変種としない意見もある。

つる性で、生育地は砂浜海岸に限らない。



1998.7.15 南房総市

ハマオモト (ハマユウ)

Crinum asiaticum var. *japonicum*

分類 ヒガンバナ科ハマオモト属

分布 関東以西, 四国, 九州

花期 7～9月

夕方から夜中に真っ白で香りのよい花を開花させる。

千葉県南部が自然分布の北限と思われるが、植栽されることが多く自然分布との区別が難しくなっている。



2007.7.6 勝浦市

ツルナ (ハマチシャ)

Tetragonia tetragonoides

分類 ツルナ科ツルナ属

分布 日本全土

花期 4～11月

葉が肉質でやわらかいので、古くから食用とされ、栽培もされている。春から秋まで黄色い小花をつける。



2005.4.16 館山市〔T〕

ハマツメクサ

Sagina maxima

分類 ナデシコ科ツメクサ属

分布 北海道, 本州, 四国, 九州

花期 7～9月

高さ3～17cmの多年草。ツメクサによく似ているが、ツメクサは内陸に、ハマツメクサは海岸に生育する。



2000.5.12木更津市〔T〕

スナビキソウ (ハママラサキ)

Argusia sibirica

分類 ムラサキ科スナビキソウ属
分布 北海道, 本州, 四国, 九州
花期 5～8月

高さ30cmほどの多年草。
地下茎が砂の中を長く伸びる
ことからこの名がついた。

果実はコルク質で波に浮き
遠方に運ばれる。



2001.10.12 銚子市〔T〕

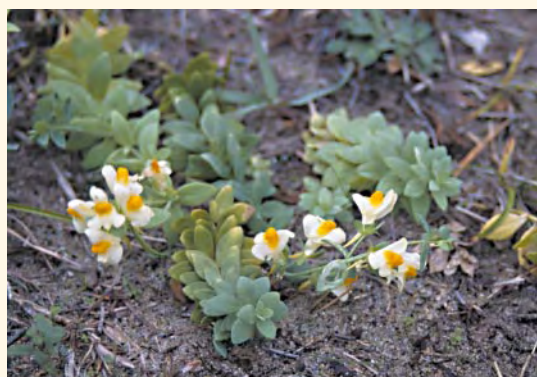
ハマビシ

Tribulus terrestris

分類 ハマビシ科ハマビシ属
分布 関東以西, 四国, 九州
花期 7～11月

砂浜に生え、茎は地面をはい
その先にすこし立ちあがる。

果実の皮は固く10本のと
げと固い毛が生えているため、
人に嫌われて除去されたり、砂
浜の衰退などにより生息地が
激減している。



2003.11.24 銚子市〔T〕

ウンラン

Linaria japonica

分類 ゴマノハグサ科ウンラン属
分布 北海道, 本州(神奈川県以北)
花期 6～11月

蘭のような花に見えること
から、海辺に咲く蘭が転じてウ
ンランになった。寒地性の植物で、
千葉県での分布は銚子市や一
宮町など限られている。